



別府市は、新型コロナウイルスの影響で生活に困っている大学生を支援する緊急対策「学生エールプロジェクト」を始めました。

2020年5月22日付大分合同新聞 22面

別府市、大学生に「エール」

別府市は21日、新型コロナウイルスの影響で生活に困っている大学生を支援する緊急対策「学生エールプロジェクト」を始めると発表した。公園の清掃や道路の陥没調査などの作業に協力してもらい、「アルバイト代」として謝礼金を支給。当面の食料支援としてコメ、パスタを無償提供する。経済的理由で退学を迫り込まれる事態を防ぐのが狙い。総事業費は約4千万円。



別府市ホームページの英訳に当たる緊急雇用の職員ら。市は新型コロナウイルスで生活が苦しい大学生の支援策として、簡易な翻訳や公園清掃などの作業に対する謝礼金を支払う。21日、市役所



市によると、市内の大学に通う学生は約8千人。感染拡大でバイト先が休業になったり、仕送りをする親の収入が減ったりするケースがあり、生活支援が必要と判断した。別府大、立命館アジア太平洋大（APU）、別府溝部学園短期大の学生に加え、市内在住で市外の大学へ通う学生も対象にした。希望者は市ホームページの専用フォームから申し込む。22日から受け付け

軽作業に「アルバイト代」 コメ、パスタを無償提供

作業は清掃、表示板の翻訳など簡易なものを中心。4時間ほどの活動1回につき3590円を支払う。来年3月にかけて延べ1万人分の予算を用意した。食料支援は学生1人当たりコメ5kg、パスタ500g、1500人分を準備しており、6月3日に各大学などで配る。

学生の生活実態を巡っては、APUの卒業生・職員でつくるグループが今月中旬、インターネットを通じてアンケートを実施した。学生約400人が回答し▽バイト収入が減った 70%▽生活費に困っている 65%▽所持金が5万円以下 60%▽母国・地元に戻れず悩んでいる 40%▽家賃・学費に困っている 30%との結果が出た。

政府は19日、困窮する学生への支援として1人当たり10万~20万円の現金給付を閣議決定した。市文化国際課は「市としてもきめ細かに対応する。別府市の宝である学生を全力でサポートしたい」と話している。(江藤聖寿)

① 別府市がこのプロジェクトを始めた理由は何ですか？

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

② 支援の対象となるのはどんな大学生ですか？

.....

.....

.....

③ 希望する大学生にはどのような支援が行われますか？

.....

.....

.....

④ あなたの周りの人たち（家族や親せき、地域の人たち）はコロナウイルスの感染拡大でどんな影響を受けましたか？調べてみよう。

.....

.....